魔法少女
VS
淫魔生物10

この世界への侵略を目論むイービル

それを阻止する為戦ってきた魔法少女達だったが

ビュビュッ

ビュビュッ

何!?

大規模特殊召喚により子宮に寄生イービルを仕込まれた彼女達は弱体化

そして敗北していった

はッ

はぁ…

はっ

はぁっ…あっ!

は…っ!!

はっ…

ガクッ

ガクッ

ガクッ

ドクッ

やッ…
やっ
あっ!?
あっ！
はッ
あッ…
私は魔法少女…スピアだ
子宮にイービルが入っていて弱体化していても
あの子を助けないと！
クハッw
何でッ？
こんなに気持ちよく…！
いやあぁッ助けてッ！
ゾクゾクゾク

それに時間もない…

くかかっ

ああぁッ駄目ッだめぇ！

ガチャッ

駄目ッあっオチンポ膨らんでッ!!

ぜっぷ♡ぜっぷ

あぁッ

あっ…

あッ…

ゾクゾク

ゾク

やっ

あっ!?

ああぁッあッ精液がぁッ!!

こんな方法不本意だけど

スッ

スタングレネード

コロロロ…

あん？

ぎゃアアッ

ぐあぁッ!!

魔法少女とイービルの力の差は逆転している

ドンッ

けど完全な奇襲

重力と全魔力を乗せた一撃なら

ドッ

ト

トパキッ
!?
一撃も持たないなんて…
パキィィィィ
何だ!?
ダッ
なら…最低でも
彼女だけは逃がす!
トッ
ガシッ
クカカ…ディナーが2食分になったな
もう…視力が元に
は…
は…

調理開始だ！

ぜりぜりぜり

クッ!!

くかか子宮のヤツのおかげで下ごしらえは万端だな

あッ!!

プニュ

このままじゃ他の皆と同じで私も…

ゾク

はッ

生マンコいただくぜぇ♪

チャキッ

いやっいやああッ!!

バシュッ!!
ぶぎ
!!?
間に合って良かったわ
ユミッ!!
久しぶり
ザッ
あ…あぁ♪
ユミッ ありがとう
けどビックリしたしばらく行方不明だったし
それにその…巨大な…魔力…
…まるで
まる…で…
……
ねえユミ…何であなたからイービルの魔力を感じるの？
スピア…説明させてください
そうだぜ説明させろいきなり攻撃すんなよ

オレ様が『協力』したからコイツはお前を助けられた

もちろんアンタとも『協力』する用意がある

ん…っ!!

んっ!

ニチャァ…

んっ…

ぷるっ

ビクッ

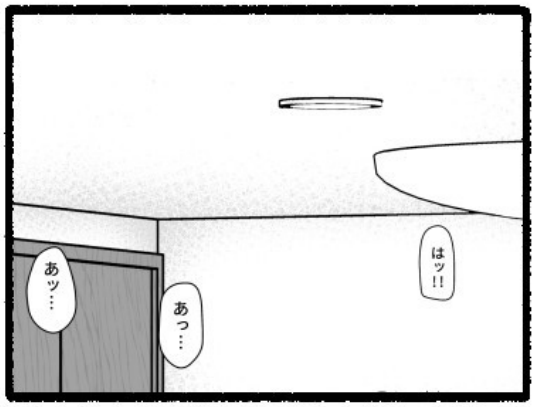
一緒にイービル共を倒そうぜぇw

ぎゅっ

グチュッ

ぶるっ

もちろんオレ様もイービルなんだけどなw



一番大きいのは快楽に忠実で乱暴、粗野

ぶるぶる

ぶるぶる

ぶるぶる

だからオレ様はお前らに協力する

ぱちゅっ

子宮のイービルの活動を抑えてやったりこうやって魔力を供給する

はッ

はっ…

あッ…

はッ…

はっ

ガクッ

ガクッ

ガクッ

ごくり、

あっ…

はッ

んぁっ…あっ！

ただイービルから魔法少女への魔力供給は…

ごくり、

はぁっ…あっ！

はッ

んっ…

少し効率が悪いらしい

ゾクゾクゾクゾクゾクゾクゾクゾク

んんんあッ!!

ガーピィィィ…！

この魔力はイービルの拠点から盗んだものだ
オレ様もハイリスクなんだ
はッ…
はっ！
やぁっ
とはいえ魔法少女のマンコはハイリターンだぜw
あッ…
やっ
あっ!?
あッ…
ポッ
ポッ
ポッ
ポッ
ポッ
ポッ
おっほほっ
イクぞ
精液出すぞ
ゲラ
ゲラ
ゲラ
ゲラ
ゲラ
ゲラ
お前もしっかり見てろよ
お仲間の種付けセックスシーンだ
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

オラッ精子しっかり味わえッ!!

ぜゅぅぅ
ぜゅぅぅ

ああッ!!あっああぁッ!!

ビクッ
ビクッ

ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ

ぶるぶる

ゴクッ

大人しく見てたって事はお前も『協力』希望でいいのか？

……

ガクッ
ガクッ
ガクッ

ブチョッ

はぁ…はぁ…
はぁ…
はぁ…

よっと

頼むならそれなりの態度でな
オレ様は無理に協力しなくてもいい
……私はイービルに勝てる力が欲しい
お願いするわ
ぷるっ
ぷるっ
ぷーっ
ぷーっ
ぷーっ
ぷるっ
ニュチャッ
ぱぁぁ
んッ
グチュッ
かっかかw
そんな風に
頼まれちゃ
仕方ねぇ
いいぜ
オレ様のチンポから
魔力を吸ってくれや

グッ
おっ
おほっ♪
んんあぁッ!!

はっ…はっ…!!
ゾクッ
はぁあっ!?
これ…駄目あれだ…あの…形…
はッ
私が望んでた形…
グチュウウ…♡
ぶるぶる
ぶるぶる

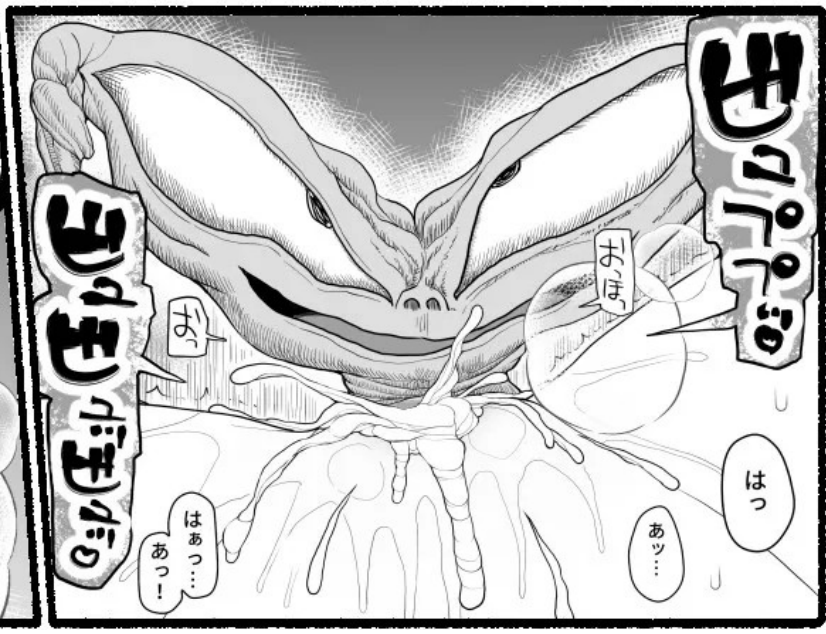
子宮のイービルに発情させられてずっとオナニーしてる時求めていた…
はっ!
はぁ
はぁあっ!?
指より太くて私のオマンコを掻いてくれる…この…形
グチュッ
グチュッ
グチュ
ゾクゾク

けどそれは形だけ…だ
はぁ…
はぁ…
はぁっ…あっ！
私が心から望んだモノじゃない
ぶるっ
子宮の中のイービルのせい…
はぁっ…んっ！
あっ…
ズプッ
ズプッ
ズプッ
はッ!!
これも魔力補給の為…
はぁっ…あっ！
ゾクゾク
食事や睡眠と同じ…必要な行為だから
んッ!!
はぁっ…んっ！
ガクッ
だから…
ゴチャ
ゴチャ
はッ!!
はッ…
はッ!!
はッ!!
ゴチャ
ゴチャ
ゴチャ
ゴチャ
ゴチャ
はッ!!
はッ!!
はぁっ…あっ！
だから大丈夫…
ゴチャ
はぁっ…あっ！
んぁっ…あっ！

こんな事…何でもない!!

ぶるゾクゾク

んんんぅぅッ!!



了承したのは一匹だけだったから

ぞくぞくぞくぞく

数は多い方が良いだろ？お前らの状況のヤバさを考えろ

はっ

はっ

それはッ!!

ぶるるっ

お前も休憩は終わりだぜ！

あっ！

あっ…

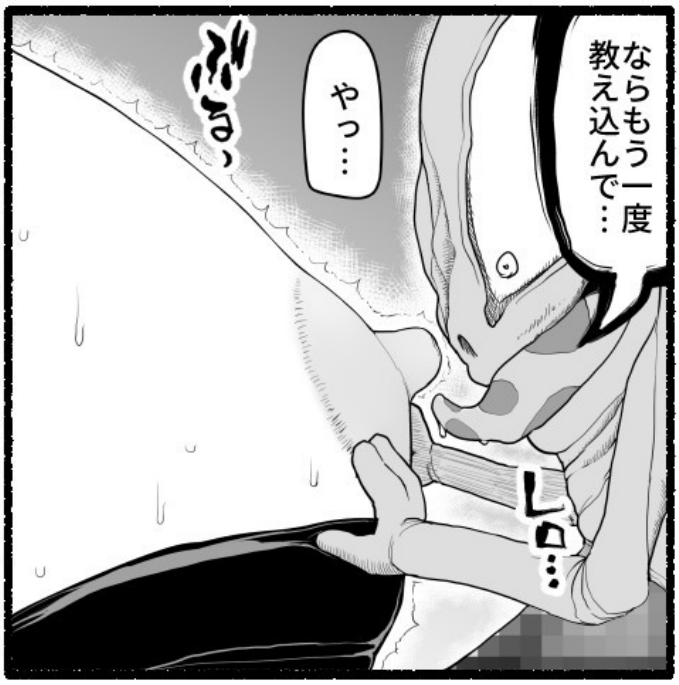
グチョッ

ゾクゾク

うあ…あもう…

それにお前は長く発情液にさらされていた
はっ…
あッ…
はッ…
んぁっ…
あっ！
ぐちゅッ
1本のチンポ1回のセックスじゃ
満足できねぇだろッ!?
ぐぽぐぽ
ぐぽッ
あああぁッ!!
オラッWチンポキクだろッ!?
ぬちぬちぬち

お前はチンポに勝てない事分かってるよなw
グチュ
グチュグチュ
グチュグチュ
グチュ
んっ！
は…ぁ
はっ！
そ…そんな事ありません
はぁっ…んっ！
はッ…
少し休んでメンタル回復したか？
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる
ゾクゾク



ああああああッ!!

あっあああッ!!

あんッ

あッ…

んぁっ…あっ!

やっ あっ!?

はぁっ…あっ!

はッ!!

はっ!

あっ!

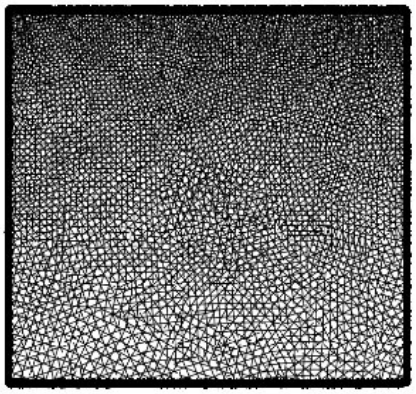
あぁっ!!

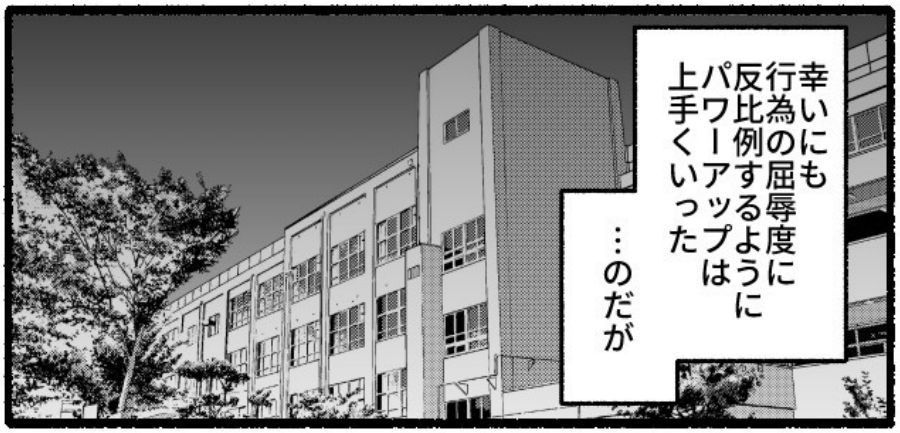
ゴリュ ゴリュ ゴリュ

ありがたく魔力入り精液受け取れッ!!
ぶるぶる
ゾクゾクゾク
んあぁぁっあああッ!!
ぴゅぴゅぴゅ
ぴゅぴゅぴゅ
ぴゅぴゅぴゅ
ぴゅぴゅぴゅ

あっ！
魔力が染み渡っていくのを感じるだろ？
オレ達の精液と一緒にな
は…っ!!
ぶるぶるぶるぶる
コポポポ…
コポッ
ゾクゾク
は…ぁ
はっ…
あッ…
これで魔法少女を続けられるぜ

あッ…
はぁ…
かっかっ落ち込むなよ
ゴクッゴクッ
ゴポッ
ゴポッ
は…っ!!
は…ぁ
はっ！
正義の味方には苦悩がツキモノだからよ
ぞくっ





待ってまだ助けた子がそばに！
うるせぇッ!!
それはそのまま彼らの必要性の再確認であり
おらっ魔力補給だ
お願い少し待っ…
あっ！
はっ！
ぞくっ
馬鹿野郎すぐに敵が来たらどうする!?
そんな…すぐには来な…
あッ…
彼らの要求は日毎に増していった
ジュルジュル
ギュッ
あ…あの…
かかかッいいからマンコさせろッ!!

へへっ 分かっちゃいたがお前モテるんだな
女子トイレ
むぐ…
パッと見回しただけでお前に熱な男子2人も見つけたぜ
おらッ 飲めッッ!!
ぜぇッッッ
顔がキレイだから価値があるんじゃねぇ 周りに欲しがられる奴がイイ女なんだ
あくまで普段のステータス ありきで犯したい
口内射精でイッてる…
私の体… どんどん快楽に弱くなって…く

子宮イービルの発情液はな
命令で抑えても常にいくらかは分泌されちまう
だから毎日性感開発をしているようなもんなんだが
んにゅうッ!!
にゅるるっ!!
お前は特に影響を受けているみたいだな
けど戦いの時はまともになるのがすげーよ
さすが魔法少女は違うぜ
ゾクゾクゾク
ゾクゾクゾク
ぴゅぽっ
ぴゅぽっ
ぴゅぽっ

戦えている
守れている
ほ、
ほ、
ほ、
ほ、
ほ、
ほ、
ガクッ
ガクッ
ゾク
ゾク
ゾク

コイツラだって
裏切る兆候はない
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ

私達は何も間違って…ない！

はっ…

は…ぁ

んんんッ!!

間違ってない…けど

これ…以上は…

はッ!!

はッ…

はっ！

あっ やっ!?

ゴギュ

ゴギュ

ゴギュ

戻れ…ないこんなのドラッグみたいなものだ

ぁ…

んっ!?

あぁっ!!

ん…ぁ

あっ…

んぁっ…あっ！

あッ…

戦いが終わった時…私達…は

あッ…あっ
あああ…あッ!!
あッ…あ!!
正気で…いられるの?
ぶるぶるぶる
ゾクゾク
ビューッ
ビュッビュッ

ほー
おほ
ほー
おー
ほー
ほー
おー
ほー
おほ
ほー
おほ
ほー
ほー
ほー

今回皆を助けられて本当に良かった
はッ
はっ…
はぁ
あっ!?
は…ぁ
は…っ!!
グチュ
グチュ
グチュ

はぁ…
あっ!
多分…あっ皆の子宮にもイービル…は入っていると思う
はぁ
あっ!?
現状…それを取り出す手段はまだないわ
やっ
あっ!?
あぁッ
グチュ

けど一時的に発情を抑えて魔力を取り戻す方法が見つかった
はッ!!
はッ…
はっ…
おほ
おっ
おっ
ほ
お
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

彼ら…の協力の…おかげでね
あぁっ!!
んッ!!
あぁっ!!
あぁッ
あッ!!
おお
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

それで…
ごめんなさい

あなた達を
助ける為には
より大量の魔力が
必要だったの…

その交換条件で
皆とのセックスを
約束した

ごめん…
ごめんなさい…
ごめんなさい…

はー
はー
おー
はー
はー
はー

ふぅ

いやっ
わだっ!!

グチュッ
グチュッ!!
グチュッ!!

ゾク

ガクッ
ガクッ

ガクッ

あ
あぁ
あぁ
あぁ

END